

森下 竜一

知財人材の問題点

1. 大学における問題

- ・ 研究者は知財の知識が乏しい
- ・ 知財本部・TLOは、法務、経営に詳しい人材が不足
- ・ 法科大学院は理系学部出身者が少ない
- ・ 大学人全体に知財意識が不足

2. 産業界・ベンチャーにおける問題

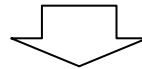
- ・ 権利取得が中心。経営戦略・研究開発戦略との連携が不足
- ・ ベンチャーはそもそも知財担当が不足
- ・ 知財部以外(企画、営業、開発、生産…)は知財の知識が乏しい
- ・ 知財の国際戦略を担う人材はほとんどいない

3. 法曹界・弁理士における問題

- ・ 技術の分かる法曹人材が不足
- ・ 弁理士の仕事は明細書作成に偏り、ビジネス感覚、戦略性に欠ける

知財人材に求められる資質

法律だけ、技術だけという専門家では限界



知財創造サイクル全体を見通せる、
国際的な視野を持った専門家が必要

- ・ 知財・経営・法務
 - ・ 技術・コンテンツ
 - ・ ビジネス・国際
- } 学際的・業際的な知識と経験が必要

各界、各分野、各層において
それぞれの役割毎に異なるスキルが必要

- ・ 大学人、企業人、法曹、弁理士、知財サーチャー、知財翻訳者、行政・・・
- ・ 経営、企画、法務、研究、開発、生産、営業・・・
- ・ 国際戦略、国際協力・・・

知財人材育成の総合戦略

各界、各分野、各層の知財人材の
全体像を明らかにし、
それぞれに求められる資質・役割・人数を把握

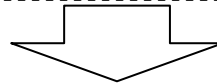


知財人材の育成のための総合戦略を策定し、
対策を具体的に推進

試験研究・リサーチツールの 取扱いの明確化

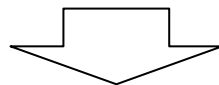
現在の特許法の運用では、

- ・ 大学での研究活動は、一般に特許侵害の免責にあたらぬ
- ・ リサーチツールを用いた医薬等の研究開発は、ライセンスを受けなければ実施できない



- ・ 大学での自由な研究活動に支障が生じる恐れ
- ・ リサーチツールの特許権利者によるライセンス拒否や法外なライセンス料が、バイオ技術の研究開発を停滞させる恐れ

研究者は怖くて



研究できない

- ・ 試験研究・リサーチツールの取扱いルールを明確化すべき